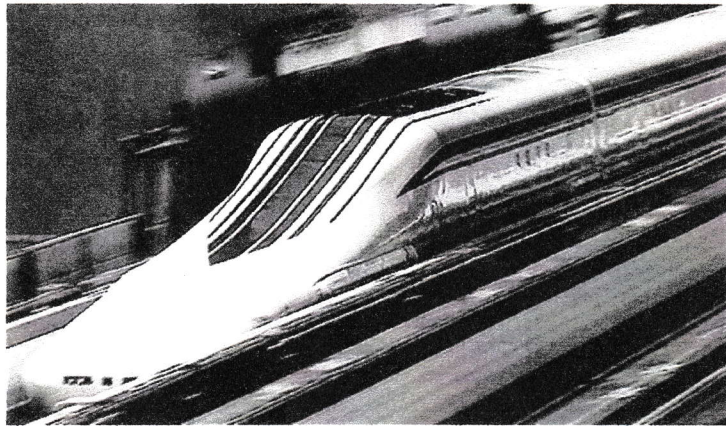


山梨リニア沿線住民の会主催

講演とシンポジウム



人も自然も苦しめるリニア中央新幹線について より一層理解を深める学習会

太平洋戦争の末期に日本軍により実施されたインパール作戦と似ているリニア中央新幹線をストップさせ、二度と同じような誤りを繰り返さないために、リニア中央新幹線問題についての理解を深めるものです。

今回は講演とシンポジウムという形で企画致しました。騒音の実験も再度行います。多くの方のご参加をお願い致します。

第Ⅰ部 講演

「アラカン山脈にトンネルを掘る～」JR東海リニア中央新幹線計画」

中央市 伊藤 洋 氏

*アラカン山脈とはインパールに続くミャンマーの山脈で、日本軍が多くの戦死者をだして作戦上、大失敗をしたところです。

第Ⅱ部 シンポジウム

◎特別報告「私たちは立ち退かない・・・飯田新駅の周辺整備計画に異議あり」

飯田市 熊谷 清人 氏

◎シンポジウム「地域が抱えるリニア問題」

笛吹市、甲府市、中央市、南アルプス市 富士川町の沿線住民の方による報告と討論

第Ⅲ部 騒音実験

当日、会場で70デシベルの騒音を聞いていただきます。

「70デシベルとはどのくらい？」

日時:2017年11月11日(土) 13時30分～

場所:中央市 玉穂生涯学習館 2F 視聴覚ホール

(055-230-7300 中央市下河東1-1)

主催 山梨リニア沿線住民の会 連絡先:内田 学(055-273-2628)

協賛 リニア・市民ネット山梨

(090-3472-4459)